

港区まちづくり マスタープラン

麻布地区

意見交換会ニュース vol.2

令和8年1月

麻布地区で第2回意見交換会を開催しました

社会経済状況など、港区を取り巻く環境が大きく変化していることから、区では「港区まちづくりマスタープラン」の改定に取り組んでいます。改定に当たっては各地区（芝地区、麻布地区、赤坂地区、高輪地区、芝浦港南地区、台場地区）で意見交換会を開催し、多くの皆様に参加いただきました。



麻布地区の第1回意見交換会は令和7年7月22日に開催し「地区の魅力」「地区の課題」について意見交換しました。第2回意見交換会は令和7年12月16日に開催し、当日は、区より、マスタープランの概要や第1回意見交換会の結果、地区の魅力・特性、課題等について紹介後、「実現したいまちの将来像」や「地区の課題を解決するための取組」をテーマに意見交換しました。主な意見を次頁にまとめています。



まちづくりマスタープランとは

港区のおおむね20年後を見据えた、まちの将来像、まちづくりの方針や取組等の考え方を示す計画です。都市計画に関する土地利用や道路・公園の整備などハード分野を中心に、防災、環境、国際化、観光、福祉、子育て、環境、文化、健康増進など幅広くソフト分野の視点を取り入れて、まちづくりの方向性を示します。

区民意見交換会

区民意見交換会では、地域の実情等をお聞きするとともに、地域の魅力・地域が抱える課題やまちの将来像についてお伺いし、把握することを目的に開催します。ご意見を骨子案や素案に反映させることで、実態を踏まえた実効性のあるマスタープランにつなげていきます。



当日の主なご意見

ー 麻布地区のまちの将来像や実現するための取組案について、ご意見をいただきました ー

まちの将来像／将来像を実現する視点

- ・ 将来像を実現するための取組案

土地利用・活用

再開発をコントロールし多様性が保たれたまち

- ・ 開発を契機とし、事業者も地域まちづくりへ参画する。
- ・ デベロッパーを優遇するのではなく、適切にコントロールする。

高度利用によるオープンスペースの創出

- ・ 建物の屋上の活用を進める。
- ・ 公園の立体利用によりオープンスペース、緑地を確保する。

道路・交通

バリアフリーで安全な歩行空間の整備

- ・ 道路の立体利用によるデッキ設置等により、バリアフリー化を推進する。
- ・ 街路樹を適切にメンテナンスし、歩行者の安全性を向上する。
- ・ バス停を、腰掛けや背もたれ機能のある構造物に更新する。
- ・ 近距離の移動の安全性と利便性を向上させるため、歩道の整備や、ちいばすのルート拡充・便数の増加に取り組む。

自転車の通行や駐輪の利便性を向上

- ・ 六本木ヒルズ等と同様に、立体自走式3階建ての公共無料駐輪場を整備する。
- ・ 六本木北公園の駐輪場を再開する。
- ・ 自転車専用レーンの整備を進める。
- ・ 区営の有料駐輪場は区民には利用しにくい。

未来の交通インフラを想定する

- ・ ちいばすが無人運転で空を飛ぶかもしれない時代に備える。

住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯

区民がやりたいことを実践できるまち

- ・ 区民のまちづくり活動や多世代交流を促進・実現できる場所や機会の創出する。
- ・ 麻布地区のコミュニティデザイン活動である『ミナヨク（みんなでまちをよくする会）』の取組が実現できる場所や機会をつくる。
- ・ コミュニティツールとしてのモルックを自治会や商店街などで活用する。

障害者福祉の充実したまち

- ・ 開発事業者にユニバーサルトイレや介護ベッドの設置を義務付ける。

健康寿命の長いまち

- ・ 区民の健康増進に関する情報を共有する。

生活利便施設が充実したまち

- ・ 飲食店やスーパーマーケットなど生活利便施設誘致を促進する。
- ・ 道路上のごみの氾濫や不法投棄への対策を行う。

生活環境改善のため対策を進める

- ・ KPIを設定して騒音を減らす対策を進める。
- ・ 六本木6丁目区営住宅前の環状3号線の騒音対策に取り組み、住民が住みやすい環境を整える。
- ・ 警備の巡視の強化や警視庁のデータを活用するなど犯罪を減らす取り組みを進める。

きれいで快適な街並みのあるまち

- ・ 麻布十番のようにキレイなまちを目指す。
- ・ 公衆トイレの美化を進める。
- ・ 喫煙ルールや喫煙場所マップなどによる情報周知の強化を行い、マナー向上を進める。

デジタル技術を活かしたコミュニティ活性化や防災力の向上

- ・ デジタルビジョン、デジタルサイネージを設置し地域コミュニティや防犯に活かす。
- ・ 裏通りにもデジタルサイネージを設置する。

当日の主なご意見

ー 麻布地区のまちの将来像や実現するための取組案について、ご意見をいただきました ー

緑・水

緑の保全と育成、活用で緑豊かなまち

- ・ 街路樹を大きく育てることで、まちなかの緑を増やす。
- ・ 開発の際に伐採される樹木を他に移植するなど保全に取り組む。
- ・ 有栖川公園等の緑地の利活用を進める。

魅力的で親しみやすい水辺エリアのあるまち

- ・ 古川周辺を再整備し、親水性を高める。
- ・ 河川の護岸形状を見直して水辺の親水性を高める。

上質な公園のあるまち

- ・ 六本木三丁目児童遊園を子どものための公園に再整備する。

防災・復興

河川の安全性の高いまち

- ・ 観光だけでなく災害対策の面からも水辺の活用を進める。
- ・ 古川の氾濫対策を進めて安全性を高める。

防災機能の高いまち

- ・ 大きな樹木に防災機能を持たせる。
- ・ 無電柱化やデジタルサイネージの活用により、防災機能を高める。

区の防災計画が区民に浸透しているまち

- ・ わかりやすい防災マップを作成し、区民に知らせる。
- ・ 防災に関する区の取組が区民に十分に活用されていない。

低炭素化

インフラの温暖化対策が進むまち

- ・ 道路に透水性のアスファルトを採用する。

景観

歴史的建造物が保全されるまち

- ・ 昔の建物を保全するために固定資産税の優遇措置などを検討する。
- ・ 歴史的建造物の保全に関する行政相談窓口を設ける。

国際化・観光・文化

外国人と共生するまち

- ・ 外国人との共生に向けたマナーやルールを共有していく。
- ・ 区内のインターナショナルスクール、プレスクールと防災訓練を一緒に行う。
- ・ 外国人向けのゴミ出し案内板を設置する。

外国大使館と交流のある国際色あるまち

- ・ 大使館が継続的に立地するよう、地域との交流やまちづくりへの参加を促す取り組みを進める。
- ・ 近くに大使館があることが地域住民に伝わるよう、商店街等と大使館の共同イベントを開催する。

伝統的祭事が継承されるまち

- ・ 神輿や山車を日常的に見られるガラス張りの格納庫を整備できるよう支援する。

